



日刊 動力車労働千葉

車両技術分科定期委員会開催 構内全面外注化粉碎・六〇才 まで働ける職場をつくろう！



車両技術分科会は、二月二日(二三日)にかけて、館山市・民宿「伝平」において、第九回定期委員会を開催し、安全無視の大合理化→新たな分割・民営化攻撃粉碎→運転保安確立に向け、動力千葉の最先頭で闘いぬく方針を決定した。

構内全面外注化阻止へ職場から反撃しよう

委員会は、議長に木更津支部の赤羽根君を選出して議事が進められた。

冒頭、渡辺会長から「二八名の解雇撤回をステップにして、強制配転粉碎、一〇四七名の解雇撤回・原職復帰の闘いを九八春闘と結合して闘いぬこう。東日本が狙う構内全面外注化攻撃を粉碎し、六〇才まで働ける職場をつくろう」とあいさつが行なわれた。

本部を代表して田中書記長から、第三八回定期委員会の方針

に則して提起が行なわれ、検修職場をめぐる状況については、JR東日本が九三年一〇月に提案している「構内入換え業務の部外委託」について、すでにJR総連革マルと結託して検討を進め、提案する時期を見計らっているという状況になっていることから、職場から反撃するとともに、当面、九八春闘と結合して一〇四七名の解雇撤回・原職復帰→強制配転粉碎へ検修職場の仲間も全力で闘いぬくことが訴えられた。

職場の問題、事故問題など、活発な意見が続出

九七年度運動方針(案)、会計報告、会計監査報告が行なわれた後、質疑応答に入った。

◆DL二両が配置されているが、当初は仕業検査だけといていたが臨検対応で何でもやらされて約束が違う。

さらに、要員も少なくて仕業検査もできなくなってしまう。

九七年度役員体制

役職	氏名	年令	支部	職名
会長	渡辺敏博	五三	夕テ	車技
副会長	田中龍美 山田護	四六 四〇	チキ マリ	" "
事務長	星 和信	四〇	マリ	" "
常任	加瀬武正 渡辺義男 鳥田喜彦 川村正巳 結城敏之 小柴将美	五二 四九 三五 三七 三六 三五	チキ 夕テ ケヨ マリ ツヌ キサ	" " " " " " " "
監査員	半田幸夫	三六	マリ	車技

強制配転されている人たちが早く戻すべきだ。(木更津)
◆凍結防止の関係で、勤務前の呼出しを行なって作業させた後、通常勤務に就かせることがあるが、それまでの時間をどう取り扱うのが問題だ。(館山)
◆派出は夜間一名で、他に呼び出された場合派出に誰もいなくなり、対応ができなくなるなど問題だ。(館山)

不当労働行為は明らか

二月十九日、一〇時から、千葉県地方労働委員会において、「木更津支部脱退強要事件」の第五回審問が行なわれ、組合側、会社側双方が証人として申請していた小関元木更津支区長(当時)に対する会社側主尋問が行なわれた。

地労委は、本件の張本人であり、支区長という立場を利用して卑劣な脱退強要を行なった小関証人の不当な証言を許さないために、木更津支部を先頭に、各支部から組合員が結集し、傍聴席を埋めつくす中で審問が行なわれた。

入寮届と一緒に脱退届を渡す
本件の核心である加入・脱退届を職場の中で渡した問題については、転換教育の関係で寮に入る必要があり、その入寮届の入った袋と一緒に入れて、訓練室で渡したというのである。この一事をとつても小関証人の不当労働行為ははっきりして

派出では夜一人体制になってしまふ。二人体制にすべきだ。
◆南三原で列車が止まり送電が三時間ストップしたが、つなぎ箱に水が入っていたことが原因だった。全く考えられない事故だが、会社は何ら対策を出していない。
質疑応答後、運動方針(案)、予算(案)が採択され、渡辺会長の冒頭で団結カンパロー三唱し、委員会は成功裡に終了した。

「木更津支部脱退強要事件」
小関元木更津支区長証言

●木更津脱退強要地労委
とき 四月一七日
ところ 一〇時から
千葉地労委